

事業所名		児童発達支援センターすまいるキッズ（放課後等ディ）				支援プログラム		作成日	令和7年	1月	30日
法人（事業所）理念		私たちは福祉人として人間の尊厳を基に、障害のある方が希望に満ちた人生をおくれるため、また社会で自立し、健康で心豊かな生活が出来るようサービスの向上に努め、利用者の意向を尊重した支援に邁進します。									
支援方針		児童が社会で自立し、安心した生活が出来るよう児童及び保護者の立場に立ち、個々に合った適切な支援を提供する。									
営業時間		8時	30分	から	17時	30分	まで	送迎実施の有無	ありなし		
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	一人一人発達とニーズに合わせ、食事・排泄・着脱・睡眠・整容・清潔・体調維持などの日常の生活がスムーズに行えるよう支援することで、生活習慣を身につけ自立を促していく。 健康管理・生活リズムの定着、基本的生活習慣の促進（挨拶・整容）									
	運動・感覚	運動や机上・製作活動を取り入れいろいろな経験を積み、日常基本動作の定着及び健康維持へ結びつけていく事を目的とする。 体力増進及び維持、体幹運動（姿勢保持）、感覚運動（調整力）									
	認知・行動	相手に合わせながら自分の言動を合わせる力や場に応じた言動の習得へ結び付けていくことで地域の中で楽しく他者ろ関わる力を身に付けさせていく。 認知機能の向上（学習支援）、行動の習得（特性や拘りへの対応）									
	言語コミュニケーション	自分の気持ちの折り合いのつけ方を学び、表現方法や社会性を身につけます。又、人との関わりを徐々に地域へと広げながら、安心して過ごせる環境づくりを自分で行えるような力を身に付けることを目指します。 ・言語能力の向上、コミュニケーションスキルの獲得（自己表現、自他理解）									
	人間関係社会性	人への関心を育て、コミュニケーションをとることの楽しさを感じられるようにする。また、地域の行事や社会体験を多く経験することで、公共のマナーの取得や社会の事象に目を向けていけることを目的とする。 ・集団行動（ルール、マナー）、社会参加（体験、交流）、スキル獲得									
家族支援		保護者間の交流または、スタッフとの交流などを通して、お子さまの情報を共有しながら共にお子さまに関わっていける事を目標として、給食試食会や療育参観、個別相談会を実施していく。兄弟、姉妹が参加出来る行事を実施します。					移行支援		切れ目のない支援を継続できるよう移行先にお子さんの発達やこれまでの支援経過、支援方法等に関する情報共有し、地域の教育の後方支援を行います。		
地域支援・地域連携		地域への発信や参加を通して、地域に見守ってもらいながら安心して過ごしていけるよう支援します。地域のみならず園や学校、他事業所との交流を実施し共生して触れ合う機会を積んでいく。様々な人と触れ合いや場面を経験しながら実体験を通してスキルの獲得を目指す。					職員の質の向上		事業所内での内部研修や地域で行われている療育に関する研修は積極的に参加する。研修を受講した者は、研修で学んだ技術や知識をスタッフ同士で分かち合い、日々の業務に反映させる。報告書などのレポートを作成し職員会議や支援会議などスタッフへの周知を図る。		
主な行事等		親子遠足、療育参観、親子運動会、給食試食会、クリスマス会、避難訓練、公開療育、地域交流									